

事を目的とするのか、また、毎号行うのか、今回を試験的なものとするのか、などの検討が必要との意見が出された。

総合計画…総会対策開始

・気象技術講習会基礎課程（3～6月）を準備  
教育と普及…来年度夏季大学を「21世紀の天気予報」をテーマとしたい。見学に代わって予報作成実習はできないか検討中。

国際…韓国で新しい学会理事長が決まった。今後の日韓の協力を進めたい。

電子情報…2001年12月1～31日の気象学会ホームページのアクセス状況（31,733件）

### 3. 会員の新規加入などについて

新入会員14名を承認、退会207名。1月15日現在、会員数4,469名（内、通常会員3,919名）。今月退会が多いのは、会費未納入者を退会扱いにしたため。

### 4. 2002年度事業計画（案）について

### 5. 公益法人会計基準の見直しに関する論点の整理（中間報告）について

総務庁が進める「公益法人会計基準」見直しに関する論点の整理（中間報告）についての意見照会が文部科学省からなされた。当学会はその趣旨に賛同する旨回答した。

### 6. 宇宙関連3機関統合後における地球観測の強化に関する要望書（案）

住理事が作成した要望書を関連する政府委員会などに理事長名で送付する。また、天気にも要望書を掲載する。

5月の総会で決議して学会名で要望してはどうか、という提案に対し、そのころは他の法人の統合化などの問題も出てくるので早く要望書を出す方がよいとされた。

今後、国立研究所などの見直し・統合化、国立大の独立行政法人化が計画されている。個々の組織からの視点、地球惑星関連の多くの学会からの視点、地球科学研究体制の新たな構築からの視点、などさまざまな視点があるとの意見があった。

### 7. 評議員の要望に対する気象学会の対応

評議員の要望に対して、関係する委員会の回答の原案が提示され、原案の概要と委員会での議論の経過が説明された。次の常任理事会までに改訂したのち、評議員に送付することとする。

気象学会事務局が気象庁に依存していることに關しても評議員に現状の説明をすることとなった。

### 8. 役員改選について

スケジュールを確認した。

## 堀内賞歴代受賞者リスト

### —天気1月号推薦募集の参考資料—

2002年度堀内賞候補者の推薦募集は「天気」1月号に掲載されていますが、参考のためにこれまでの受賞者を以下に掲載します。堀内基金奨励賞（1988～1997年度）・堀内賞（1998年度以降）

受賞者は

'88年度：深尾昌一郎（京都大学）、  
松井孝典・阿部 豊（東京大学）、  
'89年度：花輪公雄（東北大学）、  
内藤勲夫（国立天文台）、  
'90年度：近藤 豊（名古屋大学）、  
吉川久幸（気象研究所）、  
'91年度：大村 纂（スイス連邦工科大学）、  
'92年度：及川武久（筑波大学）、  
山田道夫（京都大学）、  
'93年度：岡本謙一（通信総合研究所）、

巻出義紘（東京大学）、  
'94年度：津田敏隆（京都大学）、  
'95年度：竹内謙介（北海道大学）、  
'96年度：山中康裕（東京大学）、  
田平 誠（愛知教育大学）、  
'97年度：川村 宏（東北大学）、  
神沢 博（国立環境研究所）、  
'98年度：忠鉢 繁（気象研究所）、  
'99年度：松枝秀和（気象研究所）、  
原菌芳信（農業環境技術研究所）、  
'00年度：小池俊雄（東京大学）、  
'01年度：久保田雅久（東海大学）、  
小池 真（東京大学）  
の24氏です。